



ツインテールお嬢様と慰安訓練

## 前回に関連したキャラクター紹介



シャロ

バイト先の喫茶店にセクハラ常習犯が出没して精神的に追い詰められてる不憫な女の子。お嬢様学校に通ってるが一人暮らしで生活は質素。兔が苦手。同じ学校に通うリゼ先輩のことが好き。カフェインで酔う特殊体質だが、なぜか紅茶は平気。

バイト先からの帰り道、常連客の男に自宅近くまで尾行されたのに気付いて一人で怯えていたのだがそれを幼馴染に相談したのが大きな間違いだった。



千夜

シャロと家が隣同士の幼馴染。怯えるシャロにお茶(カフェイン濃いめの玉露)を飲ませて、「このままでは暴行されちゃうのは時間の問題。レイプ被害をシャロちゃんの学校に知られるよりいっそ自分から援助交際を申し出たほうがお金も得られて怪我せず安全」と洗脳する。

家が甘味処でフランチャイズ展開を夢見ており女衞の真似事はあくまでサイドビジネス。援交の斡旋もシャロの困窮を見かねたからで一切の悪意が存在していない天然鬼畜。



ストーカー♀

本名不詳。職不詳。住所不詳。神出鬼没の変態痴女。日常的に泰然とシャロのスカートをめくったりしており常連客仲間からセクハラマウンテンと讃えられている。

喫茶店を何度も出入り禁止にされてるはずなのだが出版社に強いコネがあるらしく、店に圧力をかけて出禁を取り下げて不死鳥の如く舞い戻ってくる。

喫茶店でバイトしてるシャロに一目惚れして以来、外回り中に時間を見つけて喫茶店に入り浸る若い男。ストーカー♀とはシャロについて熱く語り合う仲であり、セクハラしてないけどシャロから同類と警戒されていた。

シャロの近所に住んでおり、シャロと喫茶店からの帰り道が偶然一緒になり尾行していると勘違いされ、甘味処の店員に捕まりシャロと援交する流れに……。



ストーカー♂



## 前回のその後



千夜

貰ったお金の二割を仲介料として受け取る約束をシャロとしていたのだが三千円しか貰えなくて、「自分を大切にしなきゃダメ」とシャロに説教する。

足元見られないように援交相手の代わりは他にもいることを強調して男が図に乗らないようにする、デートの誘いはタダでセックスさせろという厚かましい要求だから絶対に受けちゃダメ、定期的に与える餌は穴の空いた靴下で十分など男から金を巻く手管を細かく指示するのだった。

初体験がトラウマとなり男性恐怖症気味になる。そのせいかガチレス化が病的に進行している。



シャロ

ストーカー♂から何度も性交渉の要求?が来る度に拒否しているが、いきなり乱暴されやしないかと不安で眠れぬ日々を過ごしている。

不眠症を解消するため自家製ハーブティーのレシピ作りを寝る間も惜しんで没頭しており、最近知り合った女の子が喫茶店に来た時に試しに実験で飲ませてみたら一口で昏倒して店に救急車を呼ぶ呼ばないの騒ぎとなった。

ストーカー♀

奇行がエスカレートして警察に通報される。留置場内でシャロをモデルにした官能小説を暇潰しに書いてたら後にそれが大ヒット。

シャロとの援交で童貞卒業してからというもの、シャロが生活苦から援交しなくてもいいように千夜を通してシャロに金を貢ぎ続けている男。交渉時の値切りやハッターリはほとんど職業病。シャロと仲良くなろうとアプローチを続けてるがなぜか意思疎通にズレがあって全く進展しない。



ストーカー♂

シャロは同じ学校の先輩のことを好きだと千夜から聞かされ先輩とやらの敵愾心を抱く。

## 今回のあらすじ

パトリオットサーブの誤射で父親のコレクションのワインを割ってしまい、罪滅ぼしのため父親が飲みたがっていたヴィンテージワインを贈ろうと考えるリゼ先輩だったがバイトを増やしたくらいでどうにかなる額ではなかった。

兵隊さんのキャンプのレクリエーション的な施設に連休を利用して出稼ぎにいいこうと考えるのだが、経験がないことを理由に不採用となってしまう。立派な淫売になるために一体どうすればいいのか、その手の話に詳しくそうな千夜に相談するリゼ先輩。

千夜は熱心に地元での援助交際を勧めるのだが戦地の軍人の助けになりたいというリゼの熱意に根負けし、教官役としてシャロが援交した相手を紹介するのだった。





……唐突に初めて会う美少女とエッチすることになった。  
それも援交ではなく金銭のやり取り一切ない自由恋愛。

シャロちゃん以外の女の子と関係を持つ気はなかったが  
あの甘味処の店員曰く、**シャロちゃんの憧れてる先輩**  
ということなら話は別である。

こないだシャロちゃんに付き合って欲しいと告白したが  
**他に好きな人がいるからダメ**と断られてしまったばかり。  
シャロちゃんを百合の道へ引きずり込む先輩には  
なんとかして一矢報いてやりたい気持ちがあるが、  
先輩とラブラブなところを撮影してシャロちゃんに見せて  
悔しがるところも見てみたい。







リゼ先輩はただセックスするだけじゃなく男に奉仕する技術も習いたいそうだが、それは難しい話だ。

こっちも女性経験はシャロちゃん相手の一回しかない。

甘味処の店員は、リゼちゃんが売春婦にならないよう適当な訓練で不合格にすればいいと言っていた。

プロの売春婦にはなれなくても援交なら素人でも需要があると説得するよう何度も念押しされている。


上手く行ったらもう一度シャロちゃんと援交する機会を作ってあげると言っていたので逆らことはできない。

「その、こんな感じで……どうでしょうか教官？」

すぐに射精してしまいそうなのを我慢して  
いまいちだからもういいと伝える。







自分がベッドに横たわってリゼ先輩に上に跨ってもらい、女性器がよく見えるように指で広げるよう命令する。

「その指示にはどういった意味があるのでしょうか？」

危険な性病を患っていないか健康状態を確認するためと説明したら納得してもらえたようだ。






かあっ

ぽあ

ぽあ



初めて間近で見る処女膜を記念撮影させてもらう。  
このお宝写真はシャロちゃんにも見せるつもりはない。  
シャロちゃんときはジロジロ見られるのを嫌がってたし  
写真も撮らせてくれなかったがリゼ先輩は気前がいい。

「もういいでしょうか？ 恥ずかしくて死にそう……」

それでもかなり無理しているようで、名残惜しいが  
お望みの本番に移行するでしょう。


1-20-1



1-20-1







さっきからずっと勃起しっぱなしの肉棒の先端をほとんど濡れてないリゼ先輩の膣口に押し当て、そのままゆっくりと腰を落とすように指示した。

「え、避妊具は着用しないのかっ？」

まず羞恥心を克服する必要があるそうなのでそれには直接肌と肌で触れ合うのが早いと説明したら渋々、了承してくれたようだ。



にち

っ



みちい

フフ



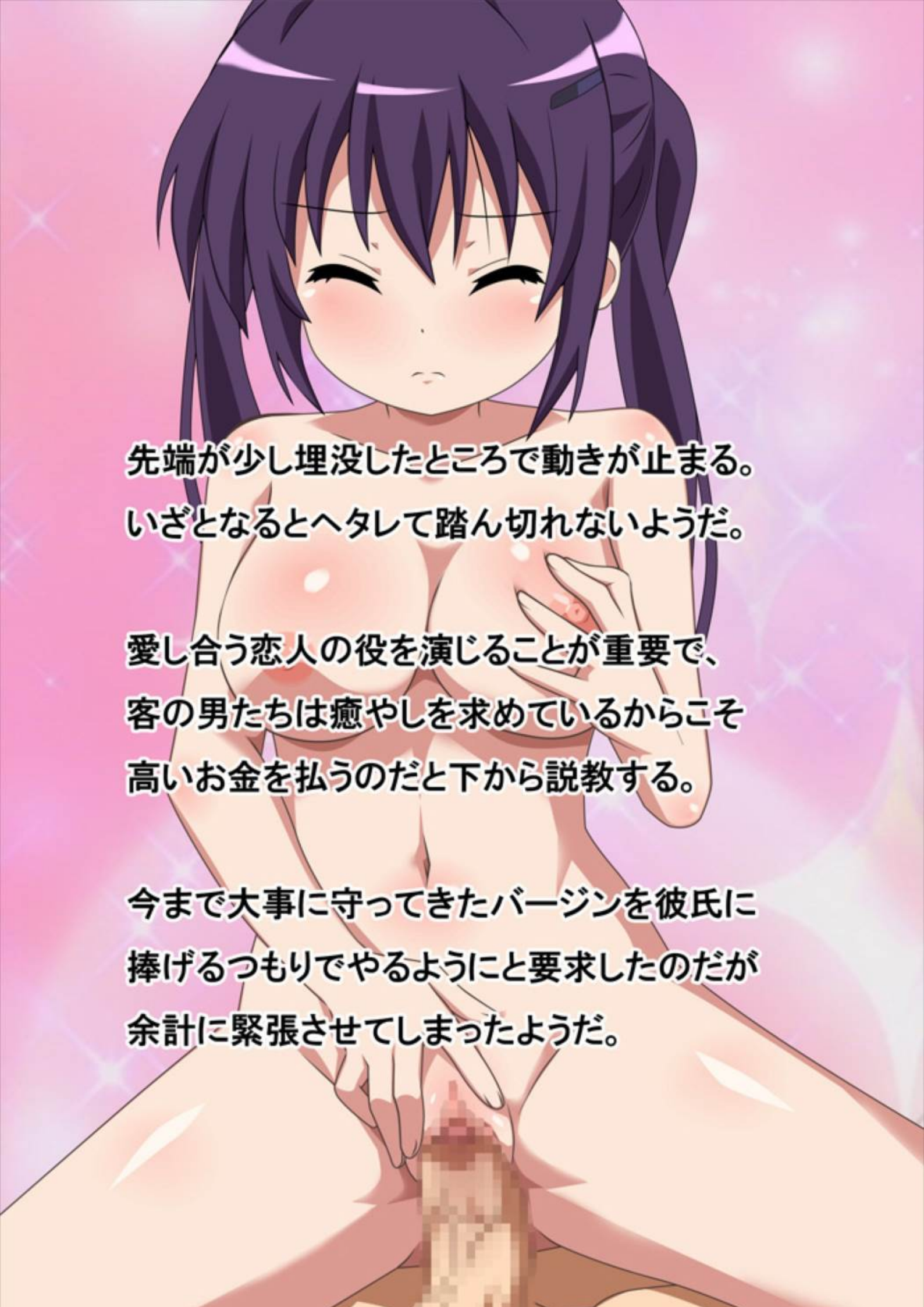
うら

!!!

プル

プル

ずぱ



先端が少し埋没したところで動きが止まる。  
いざとなるとへたして踏ん切れないようだ。

愛し合う恋人の役を演じることが重要で、  
客の男たちは癒やしを求めているからこそ  
高いお金を払うのだと下から説教する。

今まで大事に守ってきたバージンを彼氏に  
捧げるつもりでやるようにと要求したのだが  
余計に緊張させてしまったようだ。



あ

びび

むぎが

メリッ

いた

グッ  
グッ

あははは

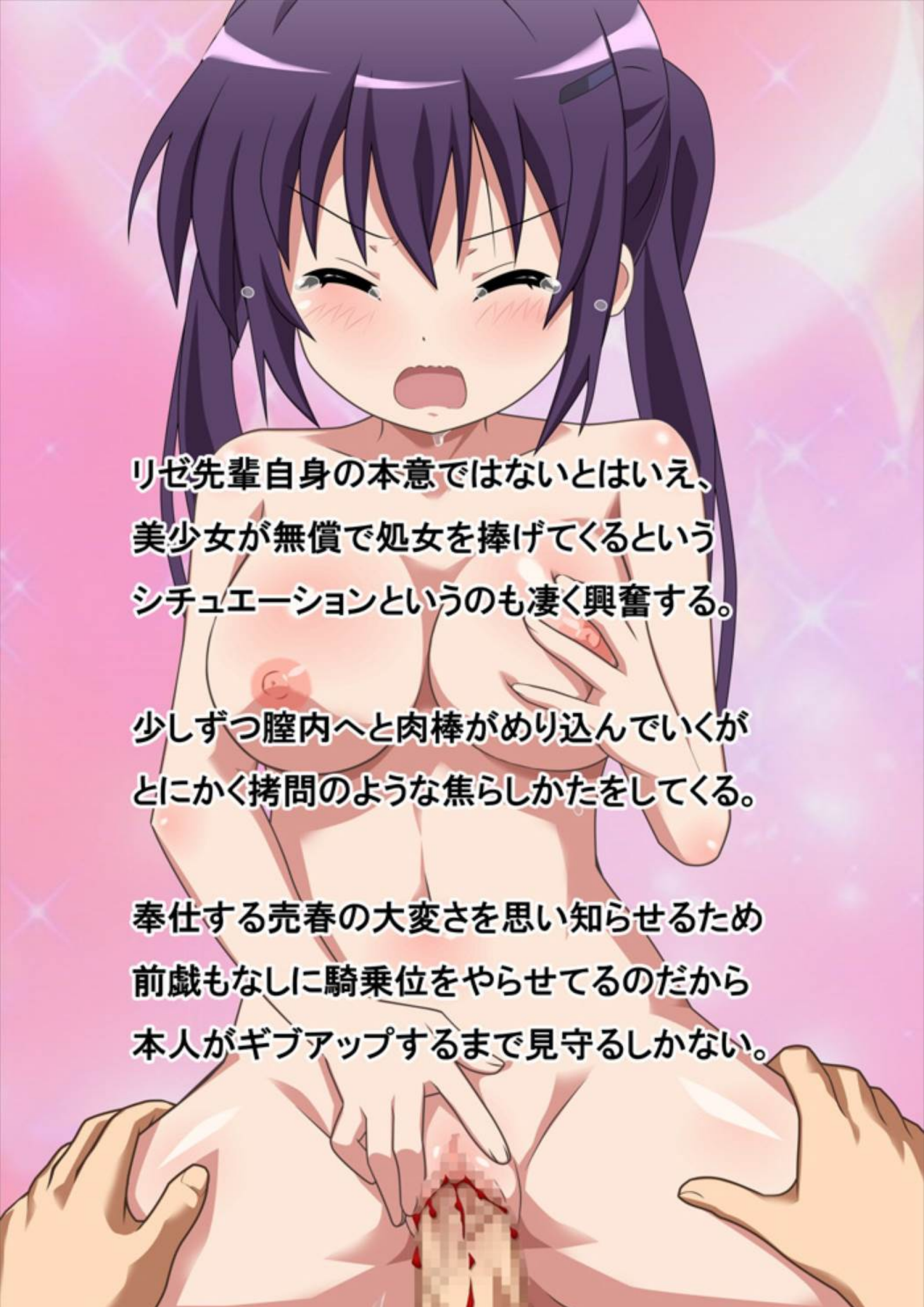
ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ

ぬ  
ぬ  
ぬ

「  
」





リゼ先輩自身の本意ではないとはいえ、  
美少女が無償で処女を捧げてくるという  
シチュエーションというのも凄く興奮する。

少しずつ膣内へと肉棒がめり込んでいくが  
とにかく拷問のような焦らしかたをしてくる。

奉仕する売春の大変さを思い知らせるため  
前戯もなしに騎乗位をやらせてるのだから  
本人がギブアップするまで見守るしかない。





んっ

んっ

みるん

みちいっ

ガッ

キチッ



「くっ……これで、どうだ？」

時間かかったが、ようやく根本まで挿入できた。  
しかし入れただけで終わりではない。  
ここから上下に激しく動いてもらわないと。

「そんなっ……!？」

さっきから膣内射精したくて我慢の限界だ。  
逃げられないようにリゼ先輩の腰に手を回し  
早く動くように催促する。



うん

ん

はあ

フキョ

ぬち

はあ

きん



手を握れば痛みが少しだけ紛れるはずと  
適当なことを言って恋人繋ぎをしてもらい  
イチャイチャしてるカップルな気分になる。

こうするとセックスしてる実感が沸いてくる。  
シャロちゃんとの時は半分レイプだったから  
中出しし放題で最高に気持ちよかったけど  
心まで満たされてはいなかったと気付く。

動きがもどかしくてなかなかイケないけど、その分  
密着している時間が長引くと考えれば悪くない。



あッ

ふあ!!

ぶるるっ

ドクッ



ぐわっ



うろ

ぐず

キム

エッチ

どろ



「やっと終わった……。これで私も一人前だな」

やり遂げ安堵してベッドに倒れるリゼ先輩。  
最後まで投げ出さすよく頑張った……  
と言いたいけど訓練合格とはいかない。

現地では一日に何人も相手にしなきゃ  
いけないから休憩を与えるつもりはない。  
容赦なく二戦目に突入する。



な

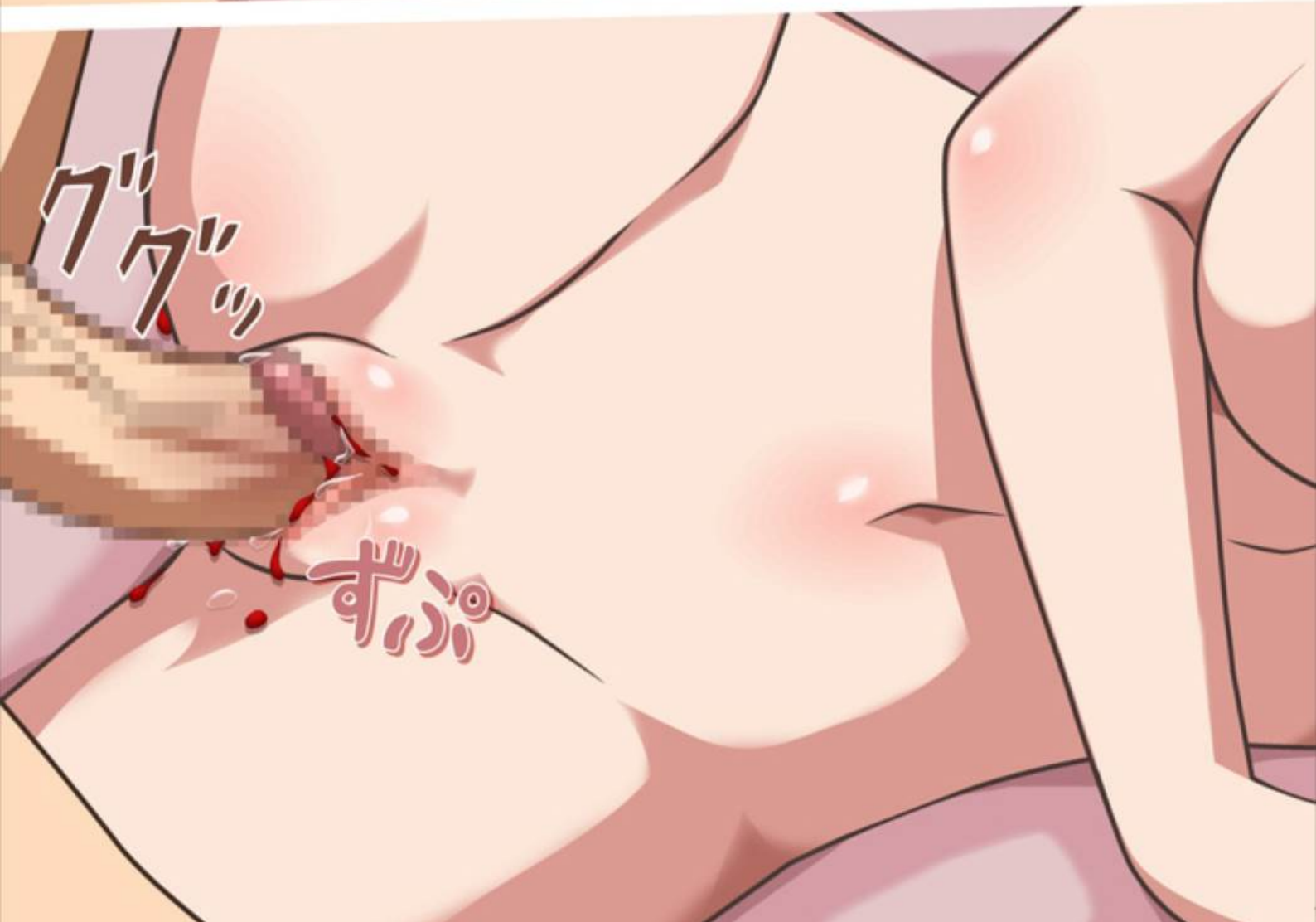
もみ

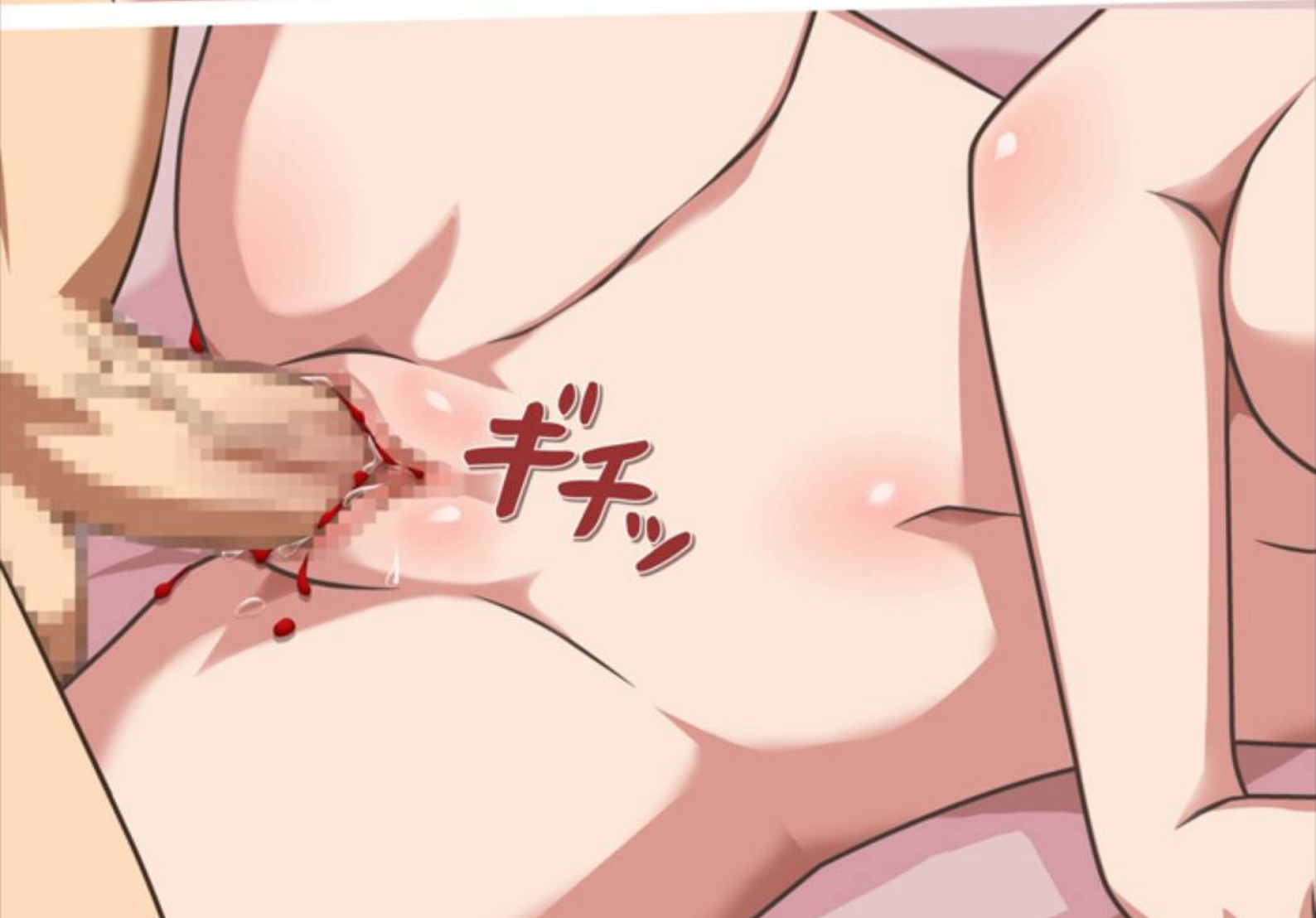
よせっ

ニャム

よせっ









身体能力の高さを伺わせる引き締まった下半身がまるで肉棒の侵入を拒むかのように膣内を狭めるが、多量の精液で抽送しやすくなっている。心を鬼して処女喪失直後の粘膜に激しく肉棒を擦り付ける。

さっきまでラブラブな時間を過ごしていた相手に対し嫌われるような真似なんて本当はしたくないのだが。



ぬぢ

びん

ドピュッ



あははは

わ

ばん

んんん

んん

んん

ばん

スチユッ





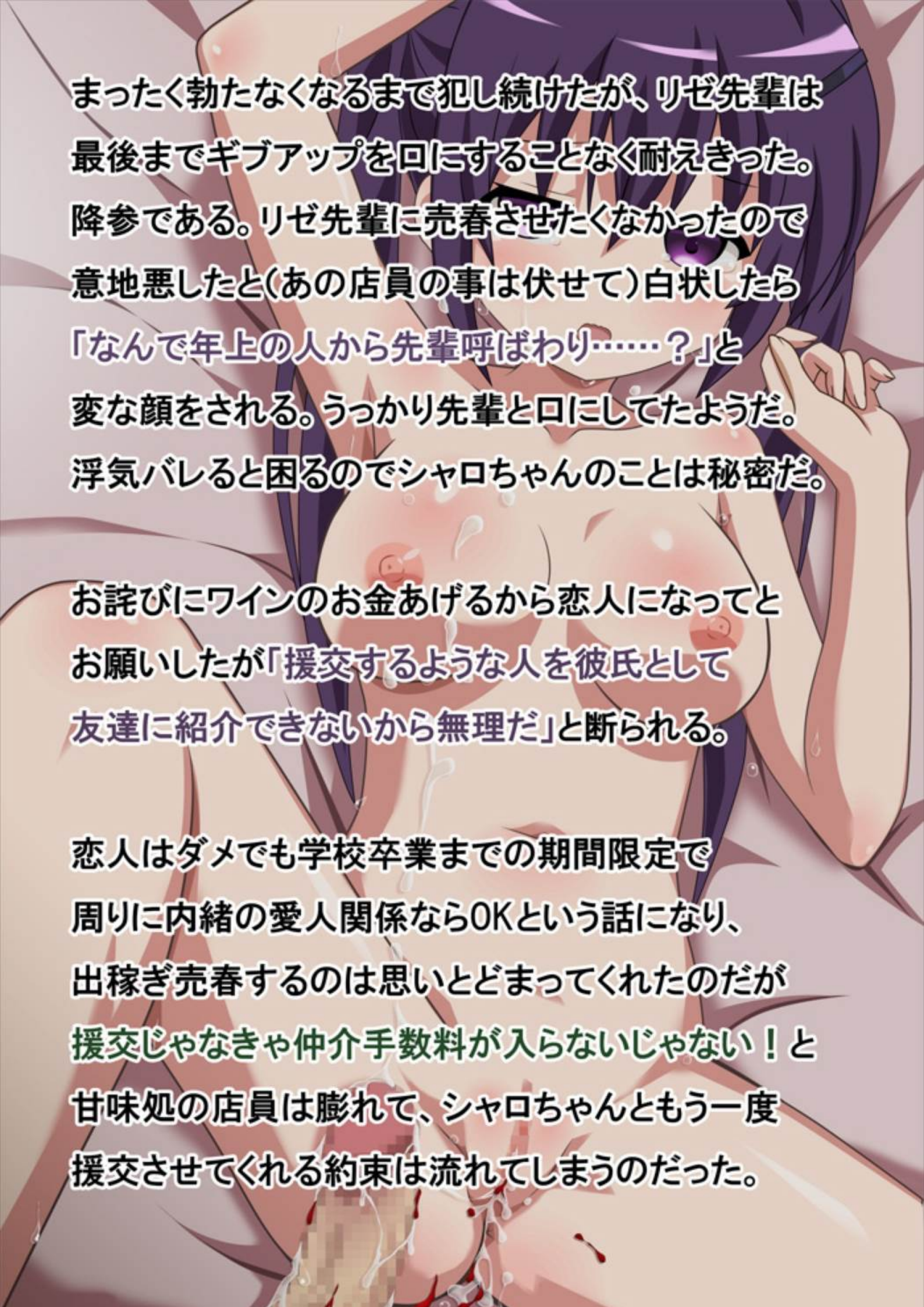
あ

うん

はあ

はあ

びるる



まったく勃たなくなるまで犯し続けたが、リゼ先輩は最後までギブアップを口にすることなく耐えきった。降参である。リゼ先輩に売春させたくなかったのも意地悪したと(あの店員の事は伏せて)白状したら「なんで年上の人から先輩呼ばわり……？」と変な顔をされる。うっかり先輩と口にしてたようだ。浮気バレると困るのでシャロちゃんのことには秘密だ。

お詫びにワインのお金あげるから恋人になってとお願いしたが「援交するような人を彼氏として友達に紹介できないから無理だ」と断られる。

恋人はダメでも学校卒業までの期間限定で周りに内緒の愛人関係ならOKという話になり、出稼ぎ売春するのは思いとどまってくれたのだが援交じゃなきゃ仲介手数料が入らないじゃない！と甘味処の店員は膨れて、シャロちゃんともう一度援交させてくれる約束は流れてしまうのだった。



次回



脱法ハーブティーでチマメ隊を昏睡レイプ三連発!!!



Three anime-style girls are shown from the chest up, sitting in a bathhouse. The girl on the left has reddish-brown hair tied back with a blue flower. The girl in the middle has light blue hair and blue eyes. The girl on the right has dark blue hair and yellow eyes. They are all looking towards the right with various expressions of concern and surprise.

「リゼ先輩に馴れ馴れしいマヤって小娘を辱めて欲しいの」

急にシャロちゃんから援交の申し出があったと思ったら  
性犯罪の片棒を担げという、とんでもない脅迫だった。

楽して稼げると簡単なバイトがあるとシャロちゃんに騙され  
誘き出された三人の女の子、チマメ隊。そのうち一人を  
眠っている間にハメ撮りしちゃうようにと指示されたものの、  
マヤってというのがこの中の誰なのか聞いてないんだが……。

つづく

